

Morningstar[®] 日本株式
ジェンダー・ダイバーシティ・
ティルト指数（除く REIT）
構築ルールSM

Contents

概要 3

指数構築.....	4
メソドロジー概要.....	4
対象ユニバース.....	4
適格性.....	4
ポートフォリオ構築.....	4
指数のメンテナンスと算出.....	6
構成銘柄入替とリバランス.....	6
コーポレート・アクション.....	6
指数算出と価格データ.....	7
メソドロジーのレビューと指数の算出停止に関する指針.....	7
データの修正と精度.....	8
日中の指数データの修正.....	8
指数関連データと除数の修正.....	8

例外 8

付録 9

付録 1: ルールブックの改訂履歴.....	9
付録 2: Equileap ジェンダー・スコアカードの算出.....	9
付録 3: Morningstar のセクター分類.....	10
Morningstar Indexes について.....	11

概要

Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）は、ジェンダー・ダイバーシティに関連する環境・社会・ガバナンス（ESG）基準に合った投資目的の達成を目指します。同指数は、Equileap が提供するデータと評価手法を活用し、確立されたジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透している企業、および、ジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業に重点をおいた投資が可能になるよう設計されています。

Equileap ジェンダー・スコアカードと企業の優先順位付けに関する手法の詳細は、付録 2 をご参照ください。

指数設定日及びパフォーマンス算出開始日

指数の算出開始日は 2023 年 3 月 27 日、遡及算出開始日であるパフォーマンス基準日は 2015 年 12 月 18 日に設定します。

指数構築

メソドロジー概要

対象ユニバース

•Morningstar 日本株式指数（除く REIT、国内投資家基準）の構成銘柄から選択

適格性

全ての親指数構成銘柄が、指数への組み入れ対象となります。Equileap¹により指定された、アラームベル論争リスト含まれる証券は、最も低いスコアグループに割り当てられます。

ポートフォリオ構築

•構成銘柄比率には Equileap ジェンダー・イクオリティ・スコアに基づくティルト係数を乗じる
 •セクター配分比率は親指数に対してニュートラルとする
 •構成銘柄比率の上限を 5%とする

Morningstar
 日本株式
 ジェンダー・
 ダイバーシティ・
 ティルト指数
 （除く REIT）

¹ 詳細については付録 2 をご参照ください。

対象ユニバース

Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）の構成銘柄は、定期的に行う構成銘柄入れ替え時に、Morningstar 日本株式指数（除く REIT、国内投資家基準）（以下、親指数）の構成銘柄の中から選択されます。親指数の構築についての更なる詳細は、[Construction Rules for the Morningstar Japan ex-REIT Domestic Index](#) をご参照ください。

適格性

- 全ての親指数構成銘柄が Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）への組み入れ対象となります。

ポートフォリオ構築

全ての親指数構成銘柄が指数に含まれ、ジェンダー・イクオリティ・スコアが割り当てられます。指数のウェイトは、以下手順にて決定します。

構成銘柄数

Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）の構成銘柄数は、構成銘柄入れ替え時点における銘柄選択基準および適格基準を満たす銘柄数となります。

加重方法

指数の構成銘柄比率の算出は、以下の順序で行います。

- すべての適格構成銘柄を、Equileap ジェンダー・イクオリティ（GE）・スコアに基づき降順で並べ替えます。¹
- Equileap GE スコアが同じ銘柄がある場合は、カテゴリ A のデータ²を用いて順位を決めます。カテゴリ A に属する評価基準のうち、まず 5（昇進・キャリア開発）の基準に注目し、優劣が付かない場合は、4（従業員の多様性）の基準、3（シニア・マネジメントの多様性）の基準、2（経営幹部の多様性）の基準、1（取締役の多様性）の基準の順で比較を続けます。カテゴリ A のスコアが同じ銘柄は、前年の Equileap GE スコアが高かった銘柄に高い順位が付与されます。それでも優劣がつかない場合は、最終的な順位付けとして浮動株調整後時価総額が用いられ、浮動株調整後の時価総額の大きい銘柄が小さい銘柄より高い順位を付与されます。
- 前段階で行った Equileap GE スコアによる順位付けに従い、構成銘柄を各グループの銘柄数が等しくなるよう 5 つのグループに区分します。Equileap GE スコア、カテゴリ A のスコア、前年のスコア、そして浮動株調整後時価総額が等しい銘柄が 2 つ以上ある場合、それらの銘柄は、常に同じグループに区分されます。ここでは各グループの銘柄数を等しくすることを目的としていますが、結果的に各グループの銘柄数は等しくならない可能性があります。
- Equileap によるアラームベル論争リストに含まれる銘柄は、最も低いスコアグループに割り当てられます。その際、5 つのグループの銘柄数は均等になるよう調整されます。アラームベル銘柄は Equileap により指定された日から 12 か月間、論争リストに留まります。
- 前段階における Equileap GE スコアの最も悪いグループから最も良いグループの順にティルト係数（それぞれ、0.50、0.75、1.00、1.25、1.50）を設定します。
- 下の計算式に基づき各銘柄のティルト調整後構成銘柄比率を算出します：

¹ 2015 年 12 月から 2022 年 12 月の年次銘柄入れ替えにおいて、GE スコアがない銘柄には 2022 年 3 月の GE スコアを使用しています。Equileap は 2022 年 3 月に一時的な試みとして Morningstar 日本株式指数に含まれる日本株式全銘柄をカバーしました。Equileap の 2023 年以降は、Equileap のリサーチサイクルに則って Morningstar 日本株式指数に含まれる日本株式全銘柄をカバーする予定です。

2017 年 12 月のスコアは 0 ~ 35 のレンジで付与され、これが Equileap が初めて提供した GE スコアとなります。2018 年 12 月以降、Equileap は 0 ~ 100 のレンジで GE スコアを提供しています。また、2016 年 12 月末までの GE スコアについては Equileap は 0 ~ 100 のレンジでシミュレーションデータを提供しています。従って、過去データの一貫性を保つため、2017 年 12 月の GE スコアを 0-100 のレンジに標準化しました。Equileap GE スコアが付与されていない銘柄については、同じセクター分類を構成するすべての銘柄のスコアの平均値をその銘柄の Equileap GE スコアとします。アラーム・ベル論争（コントロールシー）リスト及び REIT リストに含まれる銘柄はセクター平均スコアの計算に含まれます。Morningstar によるセクターの定義（Morningstar Global Equity Classification Structure: Morningstar GECS）については、付録 3 をご参照ください。Morningstar GECS は過去の指数戦略の代表性及び持続性を維持するため、定期的に見直され、更新されます。変更内容は変更実施日以降に算出開始する指数については過去に遡って反映されます。

² カテゴリ A のデータについての更なる詳細は、付録 2 をご参照ください。

$$\text{ティルト調整後構成銘柄比率} = \frac{\text{最終ティルト係数} * \text{浮動株調整後時価総額}_i}{\sum_1^n (\text{最終ティルト係数} * \text{浮動株調整後時価総額}_i)}$$

- 親指数の各ウェイトとの乖離を最小限に抑えるため、各構成銘柄入替時に親指数のセクター配分比率と等しくなるよう調整します。各セクター内の構成銘柄比率は、前段階において算出し正規化されたティルト調整後構成銘柄比率に応じて配分されます。
- 最後に、集中リスクを回避するため個別銘柄の構成比率の上限を 5%とします。5%を超える部分については、その他の構成銘柄に、既存の構成比率に基づき再分配します。

指数のメンテナンスと算出

構成銘柄入替とリバランス

構成銘柄がリセットされる銘柄入替は年に 1 度行われ、年に 1 度 12 月の第 3 金曜日のマーケットクローズ後に実施され、次の月曜日に有効になります。構成銘柄入れ替えて使用するマーケットデータ及び Equileap のデータは 11 月の最終取引日時点のデータを使用します。

指数のリバランスは毎四半期ごとに 3 月、6 月、9 月、12 月のそれぞれ第 3 金曜日のマーケットクローズ後に実施されます。調整は金曜日のマーケットクローズ後に実施され、翌月曜日より新しい構成銘柄が有効になります。リバランスで使用する市場データおよび Equileap のデータは 2 月、5 月、8 月、11 月の最終取引日時点のデータを使用します。

Morningstar 日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）の構成銘柄入れ替え頻度は Morningstar 日本株指数（除く REIT、国内投資家基準）（親指数）よりも低いため、構成銘柄入れ替え日に親指数より除外された構成銘柄は、Morningstar 日本株ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除く REIT）からも除外されます。

毎四半期のリバランスにおいて、アラームベル・ベル論争リストに新たに追加された銘柄は、引き続き指数に留まりますが、最も低いグループが割り当てられ、ティルトファクターとして 0.5 が適用されます。その他、アラーム・ベル論争リスト以外の銘柄は、前回の構成銘柄入替でのティルトファクターを維持します。ティルトファクターと更新された浮動株調整後時価総額を使用してウェイトを再計算し、5%上限規定に従い構成比率を調整します。毎四半期のリバランスでは、新規銘柄は指数に組み入れず、また、セクター配分比率を親指数のセクター配分比率と等しくするための調整も行いません。

指数ファイルはグローバル・カレンダー・スケジュールに則って配信されます。詳細については、[Morningstar Indexes Holiday Calendar](#) をご参照ください。

コーポレート・アクション

コーポレートアクションに起因する構成比率の調整は、浮動株調整後時価総額指数に倣って行います。詳細については、[Morningstar Indexes Corporate Actions Methodology rulebook](#) の“Treatment for float market capitalization indexes”をご参

照ください。

指数算出と価格データ

指数の算出と価格データに関する詳細については、それぞれ [Morningstar Indexes Calculation Methodology](#)、[Equity Closing Prices Used for Index Calculation](#) をご参照ください。³

メソドロジーのレビューと指数の算出停止に関する指針

指数のメソドロジーのレビューは、提示された基本方針を確実に達成できるよう継続的に行います。これらのレビューは、コーポレートアクションの取り扱い、銘柄選択、メンテナンス・プロセスを対象としています。メソドロジーの変更はいかなる内容であっても、指数の契約者に事前通知されます。更なる詳細については、[Morningstar Index Methodology Change Policy](#) をご参照ください。

また、Morningstar は、指数に関する重大な変更や指数の算出停止につながる可能性のある事象が発生した場合も、指数のすべての契約者とステークホルダーにこれを通知します。指数の算出停止につながる可能性のある事象には、市場構造の変化、プロダクトの定義変更、不完全なデータ供給、不十分な指数の収益性、指数を使用する顧客数の不足、および、Morningstar 指数委員会が管理不可能なその他の外部要因などが含まれます。

指数、あるいは親指数の算出停止によって、指数に連動する商品を提供する契約者は、ビジネスの中断を余儀なくされる可能性があります。指数・親指数の算出停止に備え、全ての契約者が強固な代替プロセスを確保しておくことを奨励します。更なる詳細については、[Morningstar Index Cessation Process](#) をご参照ください。

³ 円貨建て以外の指数値について、2022 年 12 月の銘柄入替までのバックテスト期間はロンドン時間午後 4 時の WM/リフィニティブ外国為替レートを適用し、2022 年 12 月の銘柄入れ替え以降は、日本のマーケットクローズ後のスポット為替レートを適用して算出しています。

データの修正と精度

日中の指数データの修正

リアルタイムで算出される指数に使用するデータの正確性を確保するため、商業上合理的な手段を講じるものとします。価格あるいはコーポレートアクション・データの誤りが、指数の日々の高値あるいは安値に影響を及ぼす場合、可能な限り速やかに遡及的に修正するものとします。

指数関連データと除数の修正

データベースにある個別銘柄の株価やコーポレートアクション・データの誤りが発見された場合、これを修正するものとします。さらに、指数の除数の誤りについては、それが発生日から2日以内のものである場合は、将来に持ち越されることがないように、それを発見した日から遡及的に修正するものとします。過去の古いデータの誤りの修正については、重要性和実行可能性に鑑み商業上合理的な手段を講じるものとします。

更なる詳細については、[Recalculation Guidelines](#) をご参照ください。例外

Morningstar は上記の手順を適用するよう努めますが、市場環境、監督当局、法令、金融または税制の理由により代替的な対応をとる場合がございます。代替的な方法を再威容する場合は、関連する Morningstar 指数メソドロジー委員会により決定され、非標準的な手順を採用する場合は、Morningstar 指数管理委員会に報告されます。

付録

付録 1: ルールブックの改訂履歴

セクション	変更履歴	更新日
対象ユニバース	親指数を Morningstar 日本株式指数（除く REIT）から Morningstar 日本株式指数（除く REIT、国内投資家基準）に変更	2024 年 9 月
指数構築	アラームベル銘柄を指数に含め、最も低いスコアグループを割り当てるように変更	2024 年 12 月
加重方法	削除：現在適格ユニバースの銘柄で、前回の構成銘柄入替でアラームベル論争リストに含まれていたために除外された銘柄に、追加的に 0.5 のファクターを適用し、最終ティルトファクター=0.5 * Tilt Factor とする	2024 年 12 月

付録 2: Equileap ジェンダー・スコアカードの算出

アムステルダムに本拠を置く Equileap は、企業セクターのジェンダー間の平等に関するデータや調査・分析の提供を専門とする業界を代表する組織です。世界中の 3 千社を超える上場企業を調査対象とし、企業のジェンダー間の平等に対する取り組みを、従業員、シニア・マネジメントおよび取締役会の男女均衡度、男女の給与格差、育児休業制度、職場でのセクシュアル・ハラスメントなど 19 項目の基準をもとに独自の Equileap ジェンダー・イクオリティ・スコアカードを用いて総合的に評価し、企業を順位付けしています

- Equileap は、慈善事業で豊富な経験を持ち女性の権利の問題に精通する二人のプロフェッショナル、Diana van Maasdijk と Jo Andrews によって 2016 年に設立されました。ジェンダー間の平等を職場で推進することの重要性をデータで示すことで、ジェンダー間の平等を強力に後押しすることをミッションとしています。
- 4 つのカテゴリーに分類された 19 項目の基準で企業を評価し順位付けします。
 - カテゴリーA: リーダーシップおよび従業員の男女均衡度
 - カテゴリーB: 賃金の平等とワークライフ・バランス
 - カテゴリーC: ジェンダー間の平等を推進するためのポリシー
 - カテゴリーD: コミットメント、透明性および説明責任
- Equileap は、セクシュアル・ハラスメントやジェンダーによる差別が絡む企業の不祥事を監視しています。不祥事が、Equileap のメソドロジーに基づいて、企業の構造的な問題、あるいはシステムティックな問題を示唆していると判断される場合、その企業は「アラーム・ベル」（警告）を受けます。アラームベル銘柄は Equileap により警告を受けた日から 12 か月間、アラームベル論争リストに含まれます。
- 過去 2 年間に以下に該当する論争があった企業が「アラーム・ベル」論争（コントロールバーシー）リストに登録されます。

- 企業あるいは従業員による 1 件のジェンダー差別あるいはセクシュアル・ハラスメントに対する司法判断または公式判決
- 企業あるいは従業員による 2 件以上のジェンダー差別またはセクシュアル・ハラスメントに対する和解による訴訟の解決、または、1 件の和解による集団訴訟の解決
- 企業のマーケティングおよび広告における 2 件以上のジェンダー差別的表現に対する司法判決または公式判決

更なる詳細については <http://equileap.com/> をご覧ください。

付録 3：Morningstar のセクター分類

指数の算出に用いるセクター分類は以下の通りです。

- 素材
- 通信サービス
- 景気循環型消費財・サービス
- 景気非連動型消費財・サービス
- エネルギー
- 金融サービス
- ヘルスケア
- 資本財・サービス
- 不動産
- テクノロジー
- 公益

Morningstar Indexes について

Morningstar Indexes は、進化し続ける投資家の皆様のニーズに対応し、最先端の商品やサービスで投資家の皆様を支援するために設立されました。透明性が確保され、投資家に焦点を当てたデータとリサーチのリーダー的存在として我々が築いてきた豊富な経験を活かし、主要な資産クラス、スタイル、投資戦略の選択の幅を広げ、個人投資家、機関投資家、ウェルスマネジャー、アドバイザーの皆様が、それぞれの目的に合う投資機会を見いだせるよう独自の手段を備えています。伝統的指数や独自の IP を活用した指数から、インデックスの設計、算出、配信サービスまで、当社のソリューションは、投資家自身と同じくらい多様な投資環境に及びます。

Morningstar 指数メソドロジー委員会

Morningstar 指数メソドロジー委員会は、Morningstar が知的財産を所有する指数の全ての新指数開発、メソドロジー変更、算出停止を監督します。Morningstar リサーチの原則と価値観を指数が遵守していることも当委員会が監督します。当グループは、指数リサーチ、商品開発、商品管理、クライアント・サービス、指数インプリメンテーション及びオペレーションの専門家といった指数のデザイン及びメソドロジーについて、最初にガバナンスをチェックするメンバーで構成されています。

Morningstar 指数オペレーション委員会

Morningstar 指数オペレーション委員会は、算出している全指数の日々の管理に関して、プロセス、システム、及び例外的な対応を統括します。指数のリバランス、銘柄入れ替え、修正、マーケット分類及び不測の事態への対応についてもここに含まれます。当委員会は（イギリス、欧州ベンチマーク規制（BMR）に準拠する形で）年度の指数メソドロジー・レビューについても監督し、メソドロジーが目的から外れず、当初設定された投資目的を実現し続けるよう監視します。当グループには、データ、オペレーション、コーポレート・アクション、商品開発、指数の算出開始、クライアント・サービス及び指数マネジメントといった指数オペレーション業務に関して最初にガバナンスチェックするメンバーで構成されています。

Morningstar 指数監視委員会

Morningstar 指数監視委員会はイギリス及び欧州ベンチマーク規制（BMR）に基づいた指数監視機能の責任を負います。ベンチマーク管理に関する全ての側面におけるガバナンスに関して独立した立場で監視することで、関連するベンチマーク規制を順守しています。その権限は指数算出から管理まで、Morningstar 指数に関する全ての業務に及び、Morningstar が所有するベンチマークだけでなく、顧客が所有するベンチマーク及び指数算出業務も含まれます。その監視機能は Morningstar の組織の一部ですが、指数ビジネス、指数管理、及びその他の指数委員会から独立しています。

www.indexes.morningstar.com

お問い合わせ

indexes@morningstar.com

The information in this document is the property of Morningstar, Inc. Reproduction or transcription by any means, in whole or part, without the prior written consent of Morningstar, Inc., is prohibited. While data contained in this report are gathered from reliable sources, accuracy and completeness cannot be guaranteed. All data, information, and opinions are subject to change without notice. This document may contain back-tested or simulated performances, and the subsequent results achieved by the investment strategy may be materially different.

<重要事項> この資料は英語で作成された資料の翻訳版です。日本語版と英語版との間で相違がある場合は英語版をご参照ください。英語版は <https://indexes.morningstar.com/our-indexes/details/morningstar-japan-ex-reit-gender-diversity-tilt-FS000014J9?tab=overview> に掲載されています。

© 2024 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. 本レポートの全ての著作権はモーニングスターに帰属します。モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。また、損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

本レポートに記載されている情報、データ、分析、意見は、（1）モーニングスターの機密情報ならびに専有情報が含まれます、（2）コピーならびに再配布はできません、（3）作成日時点の情報です、（4）予告なしに変更することがあります、（5）モーニングスターによる投資助言ではありません、（6）情報提供のみを目的としたものです、（7）銘柄の売買を推奨するものではありません、（8）情報の正確性、完全性や適時性を保証するものではありません。モーニングスターは、法律により定められている場合を除き、本レポートの情報、データ、分析、意見を利用して行いたいかなる投資の判断、損失、損害に責任は負いません。

当資料にある指数はそれ自体運用商品ではなく、直接投資することはできません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。本レポートは営業用資料ではありません。投資を行う際は、目論見書や他の開示情報をご確認ください。

Morningstar の商号、ロゴは Morningstar, Inc.の登録商標です。